

【ACKグループが新ビジョン 社会価値創造企業目指す】

ACKグループが新ビジョン

社会価値創造企業目指す



野崎社長

オリエンタルコンサル
タンスを中核とするACK
Kグループ(野崎秀則代
表取締役社長)は、社会
インフラ創造企業から社
会価値創造企業へをス
ローガンに、「これまで
の受動型ビジネスを『革
新』『挑戦』『変革』の
三つの思考と行動に裏付
けられた主導型ビジネス
に転換し、社会価値創造
企業を目指す」とした新
たな経営ビジョンを発表
した。これに合わせて新
たな中期経営計画も発
表。2025年の目標を
売上高700億円以上
(前期約520億円)、
営業利益30億円以上(前
期約19億円)に設定する
とともに、技術士の有資
格者1200人以上、博
士号取得者80人以上を含
む社員数3100人以上

の人員による組織体制を
構築し、目標を達成した
いとの考えを示した。
基本方針として▽事業
領域の拡大・新たな価値
の創出による国内外市場
の拡大▽企業ブランドの
強化による多様な人材の
確保とプロフェッショナ
ル人材の育成▽グループ
共通基盤の整備の三つ
を提示。これに▽個の強
化▽国内外市場の競争力
強化▽グループ各社や
国内外企業との連携強
化の三つの強化方針を
加えた。

このうち「個の強化」
については、▽インフラ
整備▽保善▽防災▽交通
(高度化・総合化)▽地
方創生、海外新規開拓
の五つを重点化事業と
し、事業モデルや技術モ
デルをアウトプットする
などしてナンバーワンと
オンリーワンを確立した
い考えだ。

同社は、「つじた新たな
ビジョンと中期経営計画
の実現に向け、五つの重
点化事業を中心として▽
インフラ整備・保全▽防
災▽交通▽地方創生の
四つのテーマに関するリ
ソースを垂直統合し、さ
らに複合化する「総合事
業」を推進。重点化プロ
ジェクトには19年9月期
に5億円、21年9月期ま
での3年間で合わせて18
億円を投資し、新たな社
会価値の創造につなげ
る。

特に自然災害の多発・
激甚化によってニーズが
高まっている防災と、同
業による全体最適を目指
すことで、基礎自治体な
く「くり」や「持続可能な社
会」の顧客に対し、安全・
安心・快適・活力という
ニーズを提供していく考
えだ。

全国初の自治体向けE
C方式の実施を支援し
た奈良県田原本町のよう
に、基礎自治体の多様化
する行政ニーズに対し、
AIやIoTなどの先進
技術を活用した多彩なり
ソースをハードとソフト
の両面で提供する。
同社は、個別のインフ
ラ関連事業の部分最適
を目指すのではなく、
多様な行政ニーズをし
っかり受け止め、総合事
業化によってニーズが

高まっている防災と、同業による全体最適を目指すことで、基礎自治体なく「くり」や「持続可能な社会」の顧客に対し、安全・安心・快適・活力というニーズを提供していく考えだ。